

沖縄県護国神社社報

うむい25号

奉祝 天皇陛下御即位三十年

社報「うむい」について

沖縄の言葉で「想い、願望、考え、所存」のことを「ウムイー」といい、戦争で亡くなっていった人達の思い、そして残された遺族、戦友達の想いを次の世代へと継承すべくつけられた名前。

日清戦争以後、敢然と国難に立ち向かっていった先人たちの尊い精神が、この「うむい」を通して未代まで受け継がれ、真に戦争の無い平和な世の中になるようにとの願いが込められている。



ご答礼遊ばされる両陛下(写真右上)お出ましになられた両陛下に向かい提灯を振る参集者たち

天皇皇后両陛下 沖縄行幸啓

平成三十年三月二十七日から二十九日、天皇皇后両陛下が沖縄をご訪問遊ばれました。今回で十一回目となる行幸啓となりました。これほどご訪問され沖縄県民の心に寄り添われ、慰霊されるお姿に深く感謝申し上げます。

二十七日ご到着後、まず沖縄平和祈念公園(糸満市)に向かわれ国立沖縄戦没者墓苑にてご供花され、御霊をお慰めし御遺族としばしお話されました。

夜には天皇皇后両陛下奉迎沖縄県実行委員会により奉迎行事が行われ、提灯大パレードでは陸上、航空自衛隊の合同音楽隊を先頭に提灯と日の丸の小旗を手に「天皇陛下万歳」と国際通りを歩きました。

続く P3へ





代表役員(会長)就任

凡そ二年間を振り返って

沖縄県護国神社 代表役員 外間 盛善

思えばある日沖縄県護国神社の代表役員である座喜味和則氏と宮司の加治順人氏が小生の事務所を訪れ、同神社の代表役員(会長)就任を打診されました。私としては、予想だにできなかったことではありましたが、その役割の大きさに驚嘆し、正直なところ逡巡せざるを得ない心境でありました。寡聞にして知らない己を顧みず快諾して就任したものの、日々試行錯誤の繰り返しであつたような感否めません。

同神社においては、年間を通じて多くの恒例祭典行事がありますが、その中でも四月二十三日の春季例大祭、六月二十三日の沖縄全戦没者慰霊祭、八月十五日の終戦記念日みたま祭り、十月二十三日の秋季例大祭に際して、境内に溢れんばかりの参

列者の数には驚嘆させられるものがあります。しかしながら、各分野において造詣が深い神社役員員の警咳に接する幸運な機会に恵まれ僥倖に存する次第であります。

唐代の詩人・李白の言葉を借りれば「天我が材を生ずる必ず用あり」を肝に銘じて日々精進を重ねる所存であります。即ち、天は自分という人間をこの世に生んだ。天が生んだ自分には必ずなすべき役割、使命があると気づいた所以であります。拙文ではありますが、凡そ二年間を経た今日私が痛感したことの一端を申し述べ随感に代えさせていただきます。



宮司挨拶

沖縄県護国神社 宮司 加治順人

今年三月二十七日から二十九日にかけて、天皇后両陛下におかれましては、先の大戦にて散華された戦歿者への慰霊と日本最西端の与那国島へ行幸啓遊ばされました。報道によれば、今回のご訪問は陛下たつてのご希望で実現されたことでした。今上陛下が初めて沖縄を訪れられたのは、皇太子時代の昭和五十年七月十七日から十九日にかけての沖縄海洋博覧会開会式に際してでした。以後、皇太子として四回沖縄をご訪問されました。そして、平成五年四月二十三日から二十六日にかけて、御即位後天皇后陛下として初めて沖縄を行幸啓遊ばされ、以後五回にわたり沖縄へご訪問なされました。両陛下が沖縄へご到着されま

すと、まず糸満市摩文仁の平和祈念堂と国立沖縄戦没者墓苑に足向けられ慰霊参拝をなされます。そこでご遺族方のお出迎えをお受けになられ、次の予定地へとご出発されます。今回も沖縄県遺族連合会宮城篤正会長ほか御遺族十五名がお出迎えをし、元遺族会会長で当神社役員でもあります照屋苗子氏へは、両陛下共に親しくお声掛けがなされました。このように、天皇后両陛下におかれましては戦歿者への慰霊が最も大切なこととされており、戦歿者をお祀りする当社へも、思召しを以て幣饌料が御下賜されました。つきましては「天皇后両陛下幣饌料御下賜奉告祭」として六十回目の春季例大祭と合わせ護国の大神が鎮まります本殿内へと幣饌料をお供えし、御奉告しますことを皆様にお伝えし、宮司挨拶とさせていただきます。



那覇空港

提灯パレード 5000人

天皇陛下からの御言葉

「大変大勢で、ありがたう。遠くで、伝えられなくて、心苦しいことでしたが、皆さんの灯り、とてもきれいに見えました。遅い時間ですので、気を付けてお帰り下さい。」

窓にお出ましになられると、約五千人の参集者は左右に提灯を振り「天皇陛下万歳」「皇后陛下万歳」を繰り返しました。両陛下はお手持ちの提灯を右に左にとお振り遊ばれ、お応えになられました。



陸上、航空自衛隊 天皇陛下奉迎特別合同音楽隊

までお進み遊ばされ、お応えになられるというハプニングもあり予想しない出来事に皆感激で涙しました。最終日は空手会館をご視察され無事に那覇空港を飛び立たれました。

平成三十年というこの慶賀すべき節目の年に行幸啓賜りましたことは沖縄県にとり誠に意義深い出来事となりました。

終着地点となった当神社が鎮座する奥武山公園では奉迎の集いが行われ吉本興業や、人間国宝照喜名朝一氏、空手、旗頭などの芸が披露されました。奥武山公園にはパレード参加者合わせて約五千人の県民が集まり歓迎申し上げました。そして、午後八時過ぎ、両陛下がホテルのお部屋の



空手演舞をした子供達

り両陛下のお姿が拝されると、退室されるまでの間何度も何度もお手を振り遊ばれ県民にはしばらくお応え下さりました。ほどなく天皇陛下より畏くもお礼のお言葉を賜りました。この度は御譲位を表明されたからの行幸啓となり、天皇陛下として最後のご訪問になろうかと、奉迎行事に集まった五千人を始め、三日間沿道での奉迎にも多くの方が集まりました。二日目に赴かれた日本最西端の与那国島では島民千七百名がお迎え申し上げ、帰りの空港ではお車からお降りになるや沿道奉迎の列の程近く



奉迎行事オープニングトーク 西川よし、カレッジセール



宮司講話

航空特攻を思い浮かべると
 と思いますが、沖縄戦で
 は航空のほかには海中、海
 上、さらに陸上と様々な
 特攻が行われたことが説
 明されました。また、沖
 縄戦は六月二十三日で終
 結したと聞いていますが、
 その後も一部で戦いは続
 いていたとされ、最後の
 特攻が行われたのは八月
 十五日の夕方、宇垣中将
 が伊平屋に向かい出撃し
 ていたことが紹介されま
 した。さらに、沖縄戦で

の特攻作戦で初めて飛び
 立ち隊長として戦果を挙
 げたのは沖縄県石垣市出
 身の伊舎堂用久中佐であ
 り、この事柄が県民にあ
 まり知られていないこと
 に言及し、沖縄の特攻と
 は沖縄を死守するための
 特攻であったと締めくく
 りました。講演後は質疑
 応答も行われ、参加者は
 終始興味深く聞き入って
 いました。

第五十九回秋季例大祭

十月二十三日第五十九
 回秋季例大祭が斎行さ
 れました。始めにご英
 霊に黙祷を捧げ「君が代」
 を斉唱、祝詞奏上に



雅楽同好会

続き大祭委員長外間
 会長、県遺族連合会
 宮城会長がそれぞれ
 祭文を奏上しました。
 また、MOA山月光



居合

輪花による献華、無外流
 明思会代表 岩科銃峰様
 による居合が奉納されま
 した。続いてみたま慰め
 の舞が奉奏され、玉串捧
 礼、各方面から寄せられ
 た祭電などを奉告申し上げ
 ました。最後に大祭委
 員長よりお礼の言葉を申
 し述べ無事に五十九回目
 の例大祭を終えました。

初詣

ひときわ明るい スーパームーン

平成三十年正月も三が

日は晴天に恵
 まれ本年も
 二十六万人余
 の初詣参拝者
 をお迎え致し
 ました。

二日の夜空

にはスーパ
 ムーンも現
 れ、月の光輝
 く中それぞ
 れの手を合わせ今年一年の無



事を祈願していました
 境内では歳旦祭の後、
 鏡割りが行われ参拝者
 にお神酒が振る舞われ、
 また昨年からはまった
 「めで鯛福ひき」も行わ
 れました。二日の夕刻
 には恒例のエイサーも
 奉納されました。さら
 に三連休中日の七日に
 は県遺族連合会との共
 催による「もち
 つき」もあり初
 詣に来た子供た
 ちにも餅をつか
 せるなどして社
 頭賑わいました。

第五十九回春季例大祭

晴天に恵まれ第五十九回
 春季例大祭が四月二十三
 日午後一時斎行されました。
 例年沖縄県遺族連合会
 にお手伝い頂き参列者の
 受付や案内などご奉仕い
 ただいております。

また祭典前の時間、裏
 千家淡交会沖縄支部の
 ご呈茶でのおもてなし、
 恒例の「田場盛信民謡
 ショー」でお楽しみ頂き



参進

そして、雅楽の音色で
 祭典が始まると、まずご
 英霊に黙祷を捧げました。
 引き続き国歌斉唱を行い
 祝詞奏上に続き大祭委
 員長による祭文、そして
 県遺族連合会による
 祭文が奏上されました。
 巫女による「みたま
 慰めの舞」が奉奏され、
 陸上自衛隊那覇基地太
 鼓部「鼓風」による和
 太鼓演奏も奉納されま
 した。ご遺族のご参列
 は減少しておりますが、
 近年は自衛隊のご参列



呈茶

ました。

も増え意義深く荘厳な祭
 典となりました。

六月二十三日

沖縄全戦没者慰霊祭斎行

沖縄の梅雨明けまもな
 い、六月二十三日汗の
 流れる暑い日差しの中、
 沖縄全戦没者慰霊祭が斎
 行されました。本年は熱
 中症対策として拝殿内に
 氷柱を設置しました。少
 しばかりではありますが
 ご参列の皆様には清涼感
 を感じて頂けたのではな
 いでしょうか。祭典では
 陸上自衛隊第十五音楽隊
 のクラリネット五重奏に
 より国の鎮め、国歌斉唱
 をしました。さらに「さ
 くらの歌」「涙そうそう」
 の奉納演奏も頂きました。
 また航空、陸上自衛隊
 を始め多数のご来賓の
 方々のご参列をいただき



陸上自衛隊第15音楽隊

厳粛で意義ある慰霊祭と
 なりました。

八月十五日

終戦記念日みたま祭り

七十二回目の終戦記念
 日を迎え、正午よりみた
 ま祭りが英霊にこたえる
 会沖縄県本部共催、沖縄
 県遺族連合会、日本会議
 沖縄県本部後援にて斎行
 されました。陸上自衛隊
 第十五音楽隊の演奏に合
 わせ正午に黙祷を捧げ、
 続いて参列者と共に全国
 戦没者追悼式(日本武道

館)にご臨席されてお
 られる天皇陛下の御言葉
 をラジオから拝聴申し
 上げました。国歌斉唱、
 祝詞奏上に続き英霊に
 こたえる会沖縄県本部
 照屋苗子副会長が祭文
 を奏上しました。その
 後巫女による「みたま
 慰めの舞」が奉奏され、
 陸上自衛隊第十五音楽
 隊クラリネット五重奏
 で「ふるさと」など二
 曲奉納演奏を頂きました。
 また、ご参列頂いた
 四名の県選出国会議員、
 また陸上自衛隊副旅団
 長などご来賓より玉串
 奉奠を賜り、厳粛にご
 斎行申し上げました。
 祭典後の記念講演会
 では「沖縄における特
 攻」と題し宮司が講演
 致しました。
 特攻といえれば大抵は

- 9日 香川県遺族連合会 有志一同正式参拝
- 9日 長崎県戦没者慰霊奉賛会 正式参拝
- 9日 栃木県護國神社自由参拝
- 10日 長崎県連合遺族会正式参拝
- 10日 北海道連合遺族会正式参拝
- 10日 世持神社例大祭宮司参列
- 10日 長崎の碑慰霊祭宮司参列
- 10日 青森県遺族連合会正式参拝
- 11日 青森のくの塔慰霊祭 欄宜参列
- 11日 霊友会第八支部日本再生の会あした塾正式参拝
- 11日 住吉神社例大祭 宮司奉仕
- 12日 広島県遺族会正式参拝
- 13日 佐賀県遺族会正式参拝
- 13日 高知県遺族会正式参拝
- 13日 土佐の塔慰霊祭宮司
- 14日 浜元巫女奉仕局長参列
- 14日 兵庫県遺族会正式参拝
- 14日 福島県遺族会正式参拝
- 15日 岡山県遺族連盟正式参拝
- 16日 岐阜県遺族会正式参拝
- 16日 千葉県遺族会正式参拝

- 16日 ふくしまの塔慰霊祭 宮司・仲巫女奉仕
- 17日 奈良県遺族会正式参拝
- 17日 愛知県遺族連合会正式参拝
- 17日 宮崎県遺族連合会正式参拝
- 18日 ひむかひの塔慰霊祭 宮司参列
- 19日 茨城県遺族連合会正式参拝
- 19日 新潟の塔奉賛会正式参拝
- 20日 岩手県遺族連合会正式参拝
- 23日 新嘗祭
- 23日 末吉宮例大祭宮司参列
- 24日 埼玉県遺族連合会正式参拝
- 25日 神奈川県遺族会正式参拝
- 27日 愛媛県遺族会正式参拝
- 27日 愛媛の塔慰霊祭 宮司参列



(12/26)

- 28日 鹿児島縣護國神社 崇敬奉賛会正式参拝
- 30日 和歌山県遺族連合会 正式参拝
- 6日 九州地区護國神社宮司会 (鹿児島) 宮司出席
- 10日 レキオウインフesta祝賀会 宮司出席
- 23日 天長祭
- 26日 神符守札清祓い 並びに助勤者安全祈願祭
- 31日 大祓式・古神札焼納祭・除夜祭
- 1月 歳旦祭
- 3日 元始祭
- 7日 新春もちつき
- 8日 日本会議沖繩県支部正式参拝



新春もちつき

- 15日 古神札焼納祭
- 26日 修養団沖繩がじまる会 SYDボランティア友の会 正式参拝
- 27日 那覇基地太鼓部鼓風奉納演奏
- 1日 沖繩京都の塔奉賛会正式参拝
- 3日 節分祭
- 3日 那覇遺族会正式参拝
- 5日 生松天神社宮崎千秋宮司 他正式参拝
- 6日 JYMA日本青年遺骨収集団正式参拝
- 7日 長野県遺族会正式参拝
- 8日 日本和裁士会 沖繩県支部針祭
- 11日 紀元祭
- 14~15日 九州地区護國神社職員研修会 (鹿児島)
- 16日 熊本県遺族連合会正式参拝
- 17日 祈年祭
- 22日 靖照会正式参拝
- 22日 和歌山県神社廳正式参拝
- 23日 神道政治連盟大阪府本部 正式参拝
- 26日 山形県神社廳正式参拝



福ひき

- 2~3日 全国護國神社宮司会 宮司出席
- 2日 神宮大麻磨頒布終了奉告祭 前原権欄宜奉仕
- 27日 山形の塔慰霊祭宮司参列
- 3日 那覇市文化協会茶道部会 正式参拝
- 15日 神道政治連盟奈良県本部 正式参拝
- 18日 表千家同門会沖繩県支部 正式参拝
- 21日 春季皇靈通拜式
- 26日 天皇皇后両陛下沖繩行幸啓 奉迎成功祈願祭
- 27日 幣饌料御下賜伝達式 会長・宮司授受
- 28日 平成二十九年度 第三回責任役員会



(2/8)

社務日誌抄

平成29年4月~平成30年3月

- 4月 宵宮祭
- 22日 第五十九回春季例大祭 靖国会正式参拝
- 23日 大阪府遺族連合会 正式参拝
- 25日 昭和祭
- 29日 天久宮例大祭 前原権欄宜参列
- 30日 生天光神明宮例大祭 欄宜参列

- 14日 沖繩県祖国復帰45周年 記念大会副会長出席
- 15日 復帰記念祭
- 17日 波上宮例大祭 局長参列
- 20日 那覇遺族会正式参拝
- 28日 真理の集い沖繩戦没者慰霊祭
- 6月 海軍壕慰霊祭 宮司参列
- 13日 しづたまの碑慰霊祭 会長参列
- 17日 阿含宗沖繩道場正式参拝 宮司 仲巫女奉仕
- 21日 勇魂の碑慰霊祭 宮司屋宜巫女奉仕
- 22日 埼玉県遺族連合会正式参拝
- 23日 沖繩全戦没者慰霊祭
- 23日 熊野速玉大社 上野顯宮司正式参拝
- 23日 幸福実現党慰霊祭
- 24日 海上挺身隊慰霊祭 宮司浜元巫女奉仕
- 26日 殉国沖繩学徒顕彰七十二年祭
- 29日 平成二十九年年度 第一回責任役員会
- 30日 滋賀県遺族会正式参拝
- 30日 水無月晦大祓式



(6/30)

- 7月 茶道裏千家淡交会沖繩支部正式参拝
- 8日 書道家柏木白光様正式参拝
- 14日 平成二十九年年度 第二回責任役員会
- 19日 英靈にこたえる会沖繩県本部総会
- 8月 第十回総代会
- 13日 麗泉書道教室正式参拝
- 15日 終戦記念日みたま祭り
- 18日 群馬県遺族の会正式参拝
- 20日 真理の集い正式参拝
- 22日 小桜の塔慰霊祭 会長参列
- 9月 沖繩県神道青年会 沖繩全戦没者慰霊祭
- 6日 識名宮例大祭宮司参列



(8/8)

- 10月 表千家同門会沖繩県支部正式参拝
- 1日 沖繩県神社庁神宮大麻頒布始祭宮司参列
- 3日 高良権欄宜奉仕 国際空手連盟正式参拝
- 6日 演舞奉納
- 17日 神嘗祭通拜式
- 18日 波上宮奉賛会秋大祭 局長参列
- 19日 群馬の塔慰霊祭宮司参列
- 19日 浮島神社例大祭宮司参列
- 20日 群馬県遺族の会正式参拝
- 20日 沖繩神社例大祭宮司参列
- 22日 修養団捧誠会神石祭
- 22日 宵宮祭
- 23日 第五十九回秋季例大祭
- 26日 東京都遺族連合会正式参拝
- 29日 生天光神明宮例大祭 局長参列
- 11月 前田高地平和の碑慰霊祭 宮司奉仕

- 3日 明治祭通拜式
- 3日 普天満宮例大祭宮司参列
- 4日 茶道裏千家淡交会 沖繩支部正式参拝
- 4日 因伯の塔慰霊祭 宮司屋宜巫女奉仕
- 5日 山口県遺族連盟正式参拝
- 5日 静岡県遺族会 静霊奉賛会正式参拝
- 5日 徳島県遺族会正式参拝
- 5日 静岡の塔慰霊祭宮司参列
- 6日 防長英霊の塔慰霊祭 会長参列
- 8日 富山県南方戦没者沖繩慰霊塔奉賛会正式参拝
- 8日 沖繩甲斐の塔慰霊巡拝 団正式参拝
- 8日 出雲大社石村権欄宜 正式参拝



(10/6)

第十回総代会開催

平成二十九年八月八日第十回総代会が開かれました。本年は改選の年となり、総代表に知念遺族会会長の大城竹明氏、副代表に沖繩借行会会長の藤田博久氏に就任頂きました。また、お二人の新任もお迎えし当神社のサポート1的役割を担って頂けることになりました。



総代紹介

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 総代表
大城 竹明 | 知念遺族会 会長 |
| 総代副代表
藤田 博久 | 沖繩借行会 会長 |
| 総代
座喜味 和則 | 沖繩県遺族連合会 顧問 |
| 瑞慶山 良祐 | 那覇市連合遺族会 会長 |
| 上原 榮吉 | 沖繩県遺族連合会 監事 |
| 翁長 正秀 | 恩納村遺族会 |
| 當山 幸宏 | 沖繩海友会 会長 |
| 國吉 信雄 | 日本会議沖繩県本部 特別顧問 |
| 中地 昌平 | 元沖繩県副知事 |
| 嶺井 政治 | (株)南都代表取締役創業者 |
| 大城 宗憲 | (株)山内産業 会長 |
| 山内 昌宏 | 長濱企業グループ 会長 |
| 長濱 文字 | 長濱企業グループ 会長 |
| 測辺 美紀 | (株)ビジネスランド 代表取締役社長 |
| 山田 良克 | 沖繩鶏卵販売(株)代表取締役 |
| 宮城 匡 | 那覇青年会議所 理事長 |
| 友利 日出夫 | 沖繩出店事業協同組合 理事長 |
| 秦 宗文 | 茶道裏千家淡交会沖繩支部 参与 |
| 熊谷 フサ子 | (一社)日本和裁士会沖繩支部 相談役 |
| 新垣 幸子 | (公社)沖繩県青少年育成県民会議 会長 |
| 垣花 惠蔵 | (一社)皇室崇敬会 会長 |
| 仲地 良彰 | 奥武山公園運営管理事務所 所長 |

奉納者御芳名

平成二十九年四月〜平成三十年三月
(社務日誌掲載以外・順不同・敬称略)

- 永代慰霊命日祭 新規申込者**
- 群馬県桐生市 大西 昭範
 - 岡山県新見市 石川 至海
 - 愛知県刈谷市 錦戸 征子
 - 大阪府堺市 篠崎登志子
- 永代慰霊命日祭御供**
- 沖繩県宜野湾市 當山 盛市
 - 神奈川県鎌倉市 関 政子
 - 岐阜県美濃市 瀨藤 信義
 - 北海道札幌市 櫻井 朋子
 - 三重県志摩市 杉木 茂樹
 - 北海道札幌市 櫻田スミ子
 - 岐阜県岐阜市 江崎 明美
 - 熊本県山鹿市 岡部 典子
 - 北海道函館市 伊藤 和子
 - 北海道札幌市 井上十重子
 - 北海道札幌市 鶴原 憲秀
 - 北海道札幌市 高田 長巳
 - 北海道札幌市 天野 喜美
 - 北海道札幌市 長野 洋子
 - 大阪府大阪市 鈴木 孝子
 - 北海道札幌市 岩井川君子
 - 福島県喜多方市 田中 昭二
 - 岩手県花巻市 瀨川 夕工
 - 北海道札幌市 北村 孝子
 - 三重県津市 吉川 つや
 - 東京都八王子市 山本 幸子
 - 鹿児島県鹿児島市 吉永 恵子
 - 群馬県吾妻郡 関崎 勝治
 - 東京都江戸川区 岡田 昌久
 - 愛知県豊橋市 小野よし子
 - 沖繩県石垣市 瀬名波長宏
 - 福岡県春日市 古賀富士子
 - 徳島県阿南市 幸田 純子
 - 愛知県豊橋市 牧 君子
 - 宮城県富谷市 菅原 義則
 - 茨城県取手市 大塚 幸男
 - 東京都調布市 米澤 務
 - 北海道北見市 十良澤義治
 - 北海道札幌市 沼田 栄二
 - 宮城県仙台市 吉川 明宏
 - 神奈川県座間市 横山 モト
 - 埼玉県所沢市 埴原 政子
 - 愛知県一宮市 門間 良子
 - 千葉県市川市 後藤 修士
 - 大阪府池田市 松永 修巳
 - 北海道札幌市 島村美哉子
 - 北海道札幌市 中野 君枝
 - 高知県南国市 西原 常子
 - 埼玉県桶川市 白田 智子
 - 滋賀県甲賀市 宿谷 長次
 - 北海道函館市 川口 公昭
 - 群馬県甘楽郡 中村 三郎
 - 北海道札幌市 加藤 勤
 - 沖繩県那覇市 与那嶺 稔
 - 愛知県稲沢市 下田 方子

- 沖繩県那覇市 新垣 信正
- 島根県雲南市 勝部 昇
- 青森県弘前市 下山 和子
- 京都府八幡市 齊藤 亮司
- 熊本県熊本市 松尾 雪子
- 岡山県久米郡 布野 芳子
- 三重県伊勢市 村井 洋子
- 佐賀県小城市 藤島由紀子
- 愛知県岡崎市 内藤 正昭
- 群馬県高崎市 江積 栄一
- 群馬県高崎市 早智子
- 群馬県高崎市 江積 節子
- 群馬県高崎市 櫻井 勝
- 千葉県八街市 黒木陽一郎
- 高知県南国市 島村 芳男
- 滋賀県愛知郡 西村 和子
- 沖繩県浦添市 濱松 昭
- 北海道函館市 川口 公昭
- 北海道函館市 川口 明江
- 北海道函館市 川口恵美子
- 奈良県天理市 中野 善史
- 三重県伊勢市 外山 喜子
- 愛知県刈谷市 丹村 要二
- 東京都武蔵村山市 渡辺 三郎
- 北海道札幌市 片岡 敷夫
- 沖繩県那覇市 与儀 シゲ
- 北海道足寄郡 大竹口重幸

- オキコ(株) 第一食糧(株) 大晋建設(株) たけや旗染店
- 鹿兒島県鹿児島市 大徳 純雄
- 東京都杉並区 石田 明敏
- 神奈川県逗子市 一戸 弥生
- 東京都足立区 沼山 光洋
- 福岡県福岡市 前田 万里
- 兵庫県姫路市 前川 英昭
- 兵庫県姫路市 美加
- 國幸興發(株) 代表取締役 國場 幸博
- 東京都練馬区 佐々木 真太郎
- 國場幸之助議員秘書 田中 慧
- 埼玉県護國神社 山田 信之
- 宮城県宮崎市 外竹 栄子
- 福岡県北九州市 茶屋本廣喜
- 沖繩県浦添市 大嶺 道子
- 埼玉県川越市 村田 春樹
- 岐阜県岐阜市 玉田 充
- 兼村 正美
- 神社新報社 緑志会
- 幸福実現党代表 下地 玲子
- 念法眞教総本山金剛寺 熊野神社 宮司 黒木 憲昭
- 東京都神道青年会前執行部 神奈川県川崎市 石川 曠
- 沖繩県那覇市 眞榮城康則

- 静岡縣護國神社 宮司二橋 正彦
- 静岡縣神社廳 静脱会伊東市湯川支部
- 伊東市遺族会 山田 廣數
- 静岡県浜松市 稲穂 貴
- 北海道岩見沢市 五十嵐幸造
- 広島県福山市 三村 光子
- 阿含宗沖繩道場 佐賀縣護國神社
- 大阪府茨木市 宮司徳久 俊彦
- 岡山市新見市 石川 幸
- 鶴戸神社 宮司本部 菊江 雅裕
- 宮崎県護國神社 宮司杉田 秀清
- 愛知県遺族連合会女性部長 牧野 笑子
- 新潟縣護國神社 宮司齋藤 伸雄
- 埼玉県桶川市 白田 智子
- 愛知県護國神社 宮司額田 照彦
- 大阪府堺市 藤原登志子
- 沖繩県浦添市 高嶺嘉代子
- 奈良県吉野郡 島山 真人
- 沖繩県浦添市 安里 清彦
- 群馬県太田市 木村 良子
- 沖繩県那覇市 高良 正幸
- 桜谷稲荷神社 牧志公設市場衣料部一同
- 沖繩県那覇市 當間 政彦
- 愛知県常滑市 三井 幸徳

- 沖繩県那覇市 熊谷フサ子
- 大社教教会 大曾根宣和
- 富士市 普明会教団
- 沖繩県那覇市 與那嶺政弘
- 茨城縣護國神社 宮司 佐藤 昭典
- 東京都千代田区 大西 優
- 雲八幡宮 宮司 秋永 勝彦
- 長野県 大井 キト
- 長野県 市川かつ子
- 長野県神社廳 住吉大社 宮司高井 道弘
- 飛木稲荷神社 宮司千葉 元
- 熊野連玉大社 宮司 上野 顕
- 熊野本宮大社 職員一同
- 熊野那智大社 宮司 九鬼 家隆
- 大阪天満宮 宮司 男成 洋三
- 広島経済大学 寺井 種伯
- 廣島経済大学 教授 岡本 貞雄

- 国旗 たけや旗染店
- 清酒 田村 君枝
- 清酒 稲嶺 賢司
- 果物 三浦日出子
- 鮮魚 根谷好則
- 「幸福あげます」 井本 仁美
- 「軍魂」「いそとせ」 小倉 暁
- 「震災が起きた後で死なないために」 著者 野口 健
- 「なぜ成功する人は神棚と神社を大切にしているのか」 著者 窪寺伸浩
- 「天皇皇后両陛下御歌集」
- 「両陛下海外慰霊の旅」 日本青年協議会

ご奉納

◆去る平成二十九年十二月十五日、元職員島仲彌神職がご逝去され一月十七日ご家族の御志によりご奉納がございました。昭和五十九年から二十八年間ご奉仕し、在職中は祭神名簿の整理にお勤め下さいました。

◆去る平成二十九年十一月二十八日前理事仲宗根善高様のご逝去され、三月二十九日ご家族の御志によりご奉納がございました。平成十三年より十四年間理事をお勤め頂き当社発展にご尽力下さいました。

ここに謹んで
哀悼の意を表します。

平成三十年度主要恒例祭典

【平成三十年】

四月二十三日

第六十回春季例大祭並びに
天皇皇后両陛下下幣饗料
御下賜奉告祭

四月二十九日

昭和祭
復帰記念祭

五月十五日

沖繩全戦没者慰霊祭
水無月晦大祓式

六月二十三日

終戦記念日みたま祭り
第六十回記念秋季例大祭

六月三十日

新嘗祭

八月十五日

天長祭
大祓式

十月二十三日

除夜祭
古神札焼納祭

十一月二十三日

歳旦祭
節分祭

十二月二十三日

紀元祭
祈年祭

十二月三十一日

どなたでも御参列出来ます

「あ、特攻」勇士之像 建立除幕式並びに慰霊祭

平成三十年四月二十三日(月)午後三時 斎行

この度、公益財団法人特攻隊戦没者慰霊顕彰会より「あ、特攻勇士之像」が奉納され除幕式並びに慰霊祭が斎行されます。沖繩でのこの地にも大変意義深いこととなり。特攻隊員の想いを風化させることなく、今後は毎年像の前にて慰霊祭を斎行することとなっております。皆様のご参列をお待ちしております。



この度、公益財団法人特攻隊戦没者慰霊顕彰会より「あ、特攻勇士之像」が奉納され除幕式並びに慰霊祭が斎行されます。沖繩でのこの地にも大変意義深いこととなり。特攻隊員の想いを風化させることなく、今後は毎年像の前にて慰霊祭を斎行することとなっております。皆様のご参列をお待ちしております。

正月献灯のお知らせ



掲揚期間
大晦日〜1月10日
奉納金
1灯 5000円

お正月の参道を照らし初詣の皆様をあたかな光でお迎えする提灯のご奉納を今年も賜っております。皆様のお申込みお待ちしております。詳しくは社務所までお問合せ下さい。

編集後記

本号では両陛下の沖繩行幸啓に触れました。提灯パレードには五千人もいる沖繩とは程遠い感覚を覚えました。両陛下の慰霊のお姿が県民の心を癒し、行動に強く現れたのでしよう。三十年続く平成の御代に万歳!!

発行 平成三十年四月
発行所 沖繩県護国神社
〒900-0026
沖繩県那覇市奥武山町四四番地
TEL 098-857-2798
FAX 098-857-7917
HP www.okinawa-sokoku.jp/
編集担当 前原 万岐
印刷所 株式会社近代美術